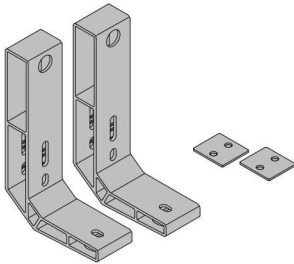


おすすめアクセサリー



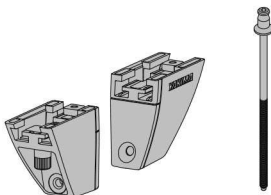
スカイピークHD
クロスバーキット

#8007513



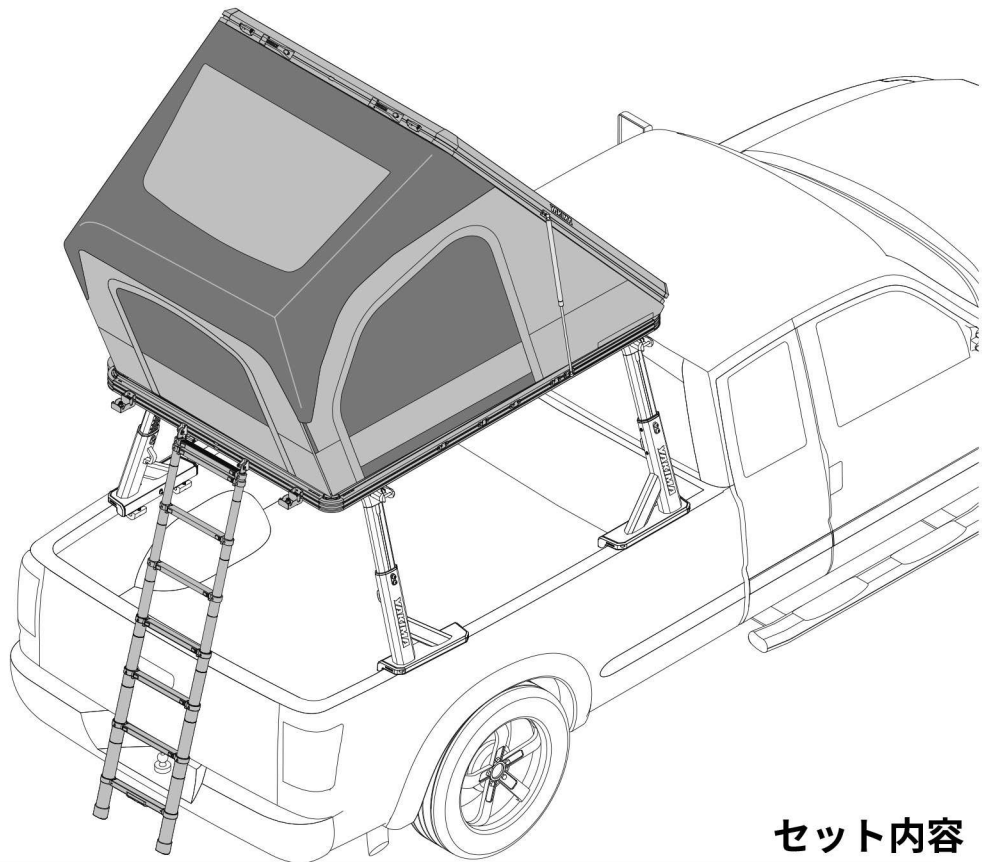
スカイピークHD
ロードシャワーオーニング
ブラケット

#8005071

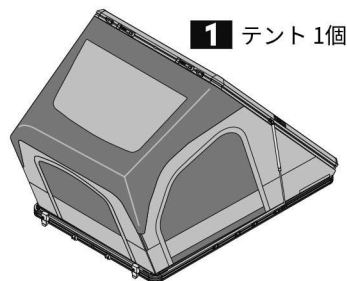


スカイピークHD
テントクランプセット

#8005072



セット内容



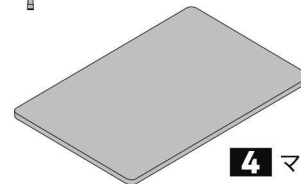
1 テント 1個



2 はしご 1個



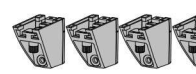
3 シューズバッグ 2個



4 マットレス 1個



5 スライド式クランプ 4個



6 調整式クランプ 4個



7 5mm



8 4mm



9 3mm



10 トルクレンチ 1個



11 キャップ付き
クランプロッド 4本



12 ハンドル 2個



13 SKSキー 2個



14 Oリング 1個



15 M5ワッシャー 4個



16 M5×25ボルト 4本



17 M5ショルダー
ボルト 1本



18 エンド
キャップ 4個



19 M8×8ボルト 2本



20 ロック 2個



21 はしご用
ラッチ 4個



22 ヒンジカバー
上部 3個



23 ヒンジカバー
下部 3個



24 M8×14ボルト 12本



25 M8ワッシャー 14個



26 M8ナット
プレート 18個



27 M6ボルト 6本



28 M6ワッシャー 6個



29 M6ナットプレート 4個



30 M4×6プラスチック
ボルト 8個



31 キャップ付き
ソーラーポート 1個



32 ボトルオープナー 1個



33 SKSロックコア 2個

耐荷重



走行中(動的耐荷重)および、
駐車中(静的耐荷重)のいずれに
おいても、車両またはキャリアの
耐荷重を超えないようにして
ください。

テントの本体重量：75kg

テント内の耐荷重：136kg (静的耐荷重)

側面Tスロットの耐荷重：33kg (動的耐荷重)

スカイピークHDクロスバーキット (別売り) を使用した際の、
テント上部の耐荷重：テント収納時 (動的耐荷重) 最大75kg

展開時 (静的耐荷重) 34kg

はじめにお読みください！

ご購入ありがとうございます！

ご購入いただいたYAKIMA製品が、今後長年にわたり確かな性能を発揮することを確認しております。
以下の、製品を安全に使用するための注意事項をよくお読みになり、本説明書は大切に保管してください。

これらの記号に
ご注意ください！



= **安全上の警告**：本取扱説明書に記載されている重要な安全上の警告をよくお読みになり、
安全にご使用ください。



= **重要な注意事項**：正しい取り付けや適合情報を確認するため、製品取扱説明書に記載されている
重要な注意事項をすべてお読みください。

注意事項(本取付説明書には、そのほかの警告も記載されています。)

- ☒ 設置の際は、4人で行ってください。
- ☒ 平らな場所に駐車した状態でテントを使用してください。
- ☒ 収納前にテントを乾かしてください。
- ☒ 出発する前にテントをしっかりと閉じてください。
- ☒ お子様がはしごを使用する際は、サポートしてください。
- ☒ 運転する前に、カバーを閉じてしっかりと固定してください。
- ☒ 車両のルーフには登らないでください。
- ☒ はしごは、一度に大人2人以上で乗らないでください。
- ☒ 強風や大雪のときは、テントを使用しないでください。
- ☒ テント内で火を使用しないでください。

重要な適合情報

警告：「NO-FIT」と記載されている車両には、本製品を使用しないでください。

fitlookup.yakima.comにアクセスし、YAKIMAの適合リストをご確認ください。

当社が実車を確認・テストした車両については、スカイピークHDに対して「FIT(適合)」または「NO-FIT (非適合)」と記載されています。スカイピークHDの適合条件は、ほかのYAKIMA製品とは異なり、ほぼ全ての純正クロスバーに適合しません。適合しないクロスバーの場合、適合リストで適合が確認された車両であっても、YAKIMAのベースキャリアが必要となります。適合リストにお使いの車両の記載がない場合は、以下のチェックリストを使用し適合を確認してください。

なお、以下のチェックリストはあくまで目安として作成されたものであり、
当社の承認済み適合リストに記載されていない車両への取り付けについては、
所有者または設置者の単独の責任において行ってください。

- ☐ 車両およびベースキャリアの耐荷重は75 kg以上である必要があります。
- ☐ 純正のルーフトラックシステムやフィックスポイントポイント(図1参照)を使用する場合は、重い荷重がかかった際にルーフが変形しないことを確認してください。
- ☐ ルーフとの間に隙間があるタイプのルーフレールに取り付ける場合は、クロスバーをルーフレールの支持部になるべく近い部分に取り付けてください。
- ☐ クロスバー間隔は、76~172cmにしてください。
- ☐ 純正のクロスバーへの取り付けは、たわむ恐れがあるのでお止めください。
- ☐ クランプをタワーから2.5cm以上外側に配置しないでください。(図2参照)

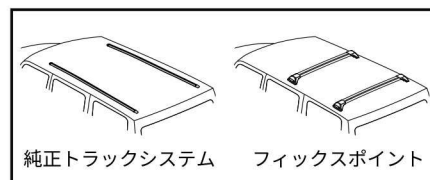


図1

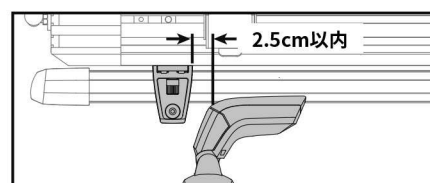


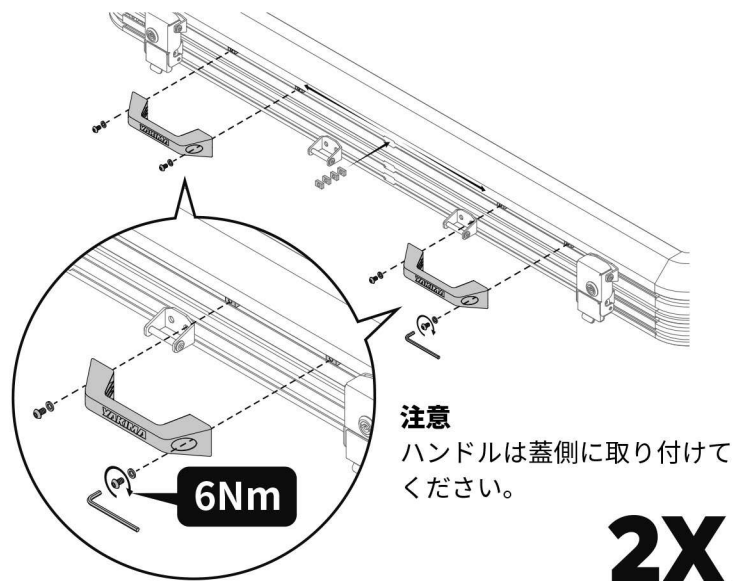
図2

組み立てと取り付け

1 テントの中身を全て取り出します。

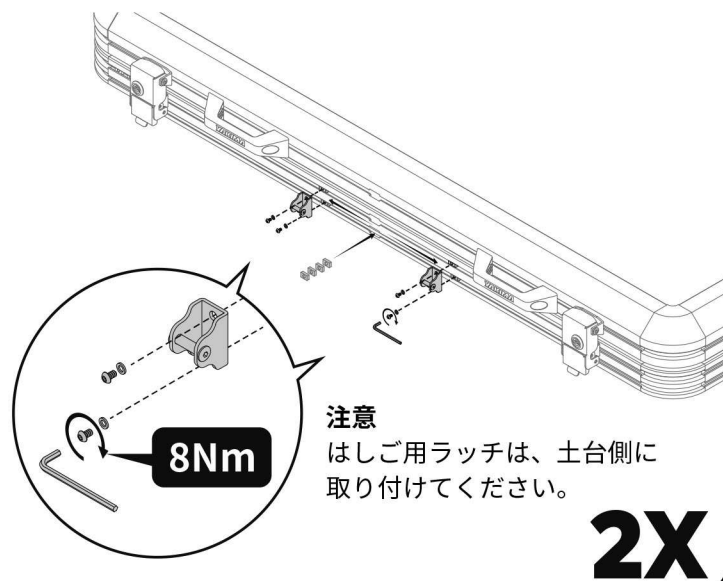
2 ハンドルを取り付けます。

- 図のように、M8ナットプレート4個を蓋側の溝の切り欠きからスライドさせ、左側に2個、右側に2個を配置します。
- ハンドルの位置を合わせ、5 mmレンチを使用し、図のようにM8ワッシャーとM8ボルトで固定します。
6Nmのトルクで完全に締め付けてください。



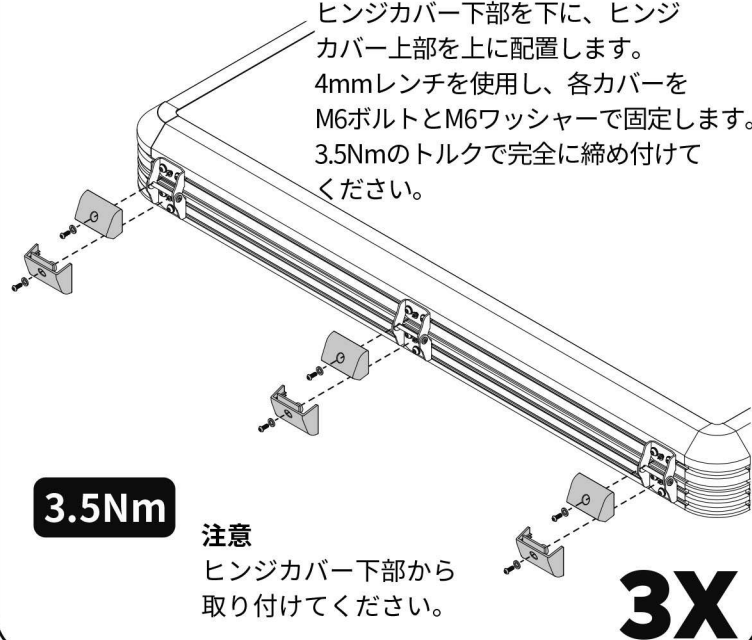
3 はしご用ラッチを取り付けます。

- M8ナットプレート4個を土台側の溝の切り欠きからスライドさせ、左側に2個、右側に2個を配置します。
- はしごラッチの位置を合わせ、5 mmのレンチを使用し、図のようにM8ワッシャーとM8ボルトで固定してください。
はしごラッチの間隔を40 cmに保ち、その後8 Nmのトルクで完全に締め付けてください。



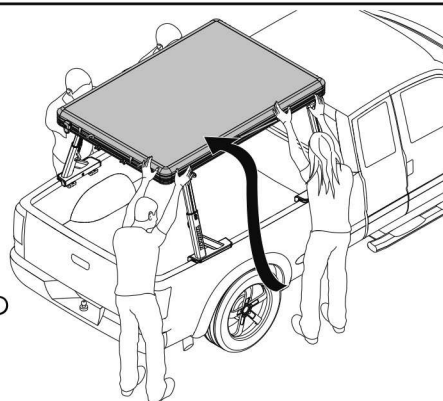
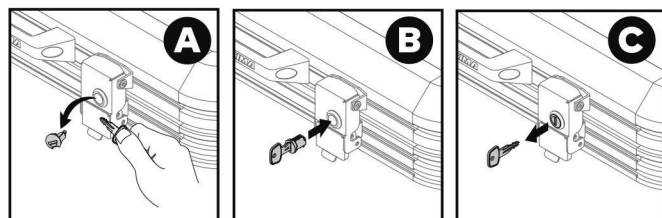
4 ヒンジカバーを取り付けます。

図のようにヒンジカバーを配置し、ヒンジカバー下部を下に、ヒンジカバー上部を上配置します。
4mmレンチを使用し、各カバーをM6ボルトとM6ワッシャーで固定します。
3.5Nmのトルクで完全に締め付けてください。



5 ラッチにロックコアを取り付けます。

- SKSキーを使用し、ラッチから黒色のプラグを取り外します。
- SKSキーを差し込んだロックコアをラッチに差し込みます。
ロックコアが完全にはまるまで、回転させてください。
- SKSキーを抜きます。もう一方のラッチについても、同様に繰り返します。



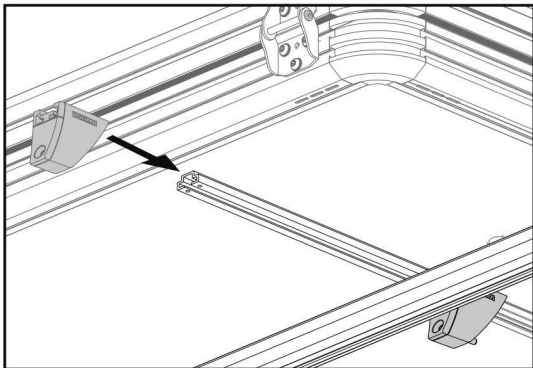
注意
車両のルーフにあるアンテナや、そのほか接触の恐れがある箇所には十分ご注意ください。

6 スカイピークHDをクロスバーの上に配置します。

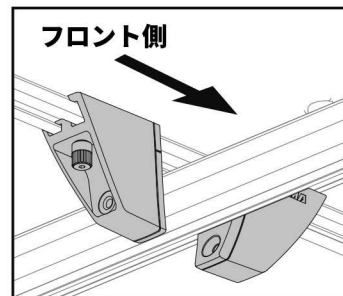
スカイピークHDをクロスバーの上に載せる際は、4人以上で行ってください。

7 クランプを取り付けます。

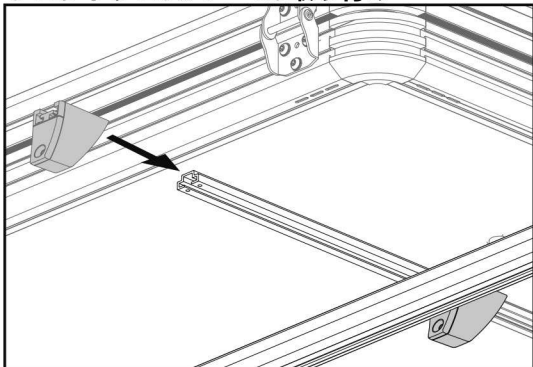
リアクロスバーへの取り付け



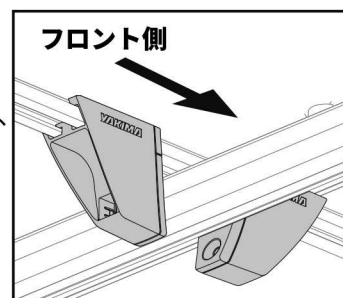
- テントのヒンジ側から各レールに調整式クランプ・スライド式クランプの順に取り付け、図のように配置してください。
- テントをフロントクロスバーから持ち上げ、すべてのクランプをクロスバーを越えてテントの中央方向へスライドさせます。
- テントをリアクロスバーから持ち上げ、各レール上の調整可能なクランプを、後部クロスバーを通り過ぎてレールの端まで移動させます。



フロントクロスバーへの取り付け

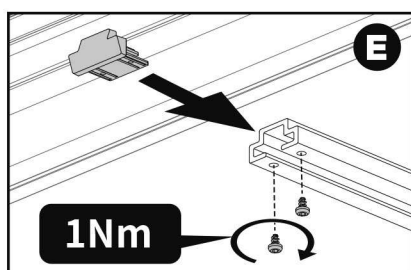
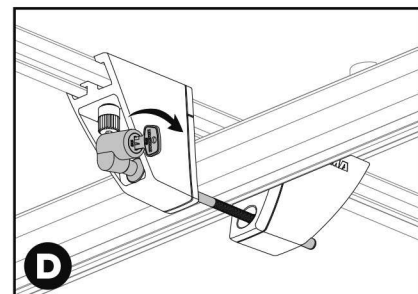
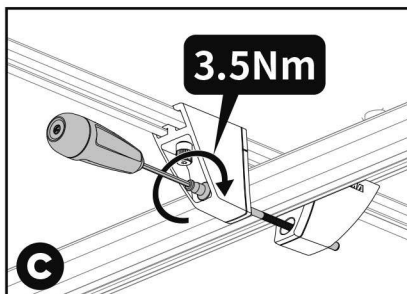
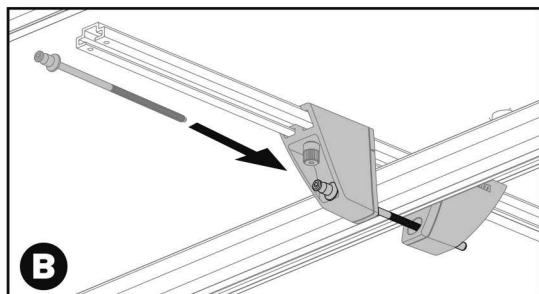
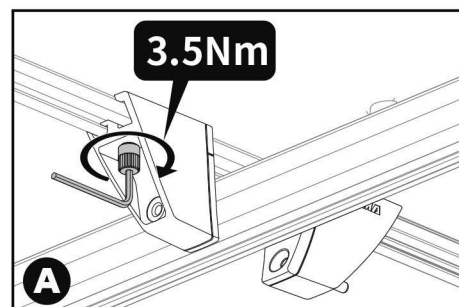


- テントのヒンジ側から、各レールにスライド式クランプ・調整式クランプの順に取り付け、図のように配置してください。
- テントをフロントクロスバーから持ち上げ、スライド式クランプをクロスバーを越えてテントの中央方向へスライドさせます。



8 クランプを固定します。

- 全てのクランプをクロスバーに接触するまでスライドさせ、4mmレンチを使用し、図のように各クランプのノブを締めます。3.5Nmのトルクで締め付けてください。
- キャップ付きクランプロッドをクランプの両側に通し、両側がクロスバーにしっかりと接触するまで手で締めてください。
- トルクレンチを使用し、3.5Nmのトルクで完全に締め付けてください。
- フロントとリアそれぞれのクロスバーのクランプロッドにロックを取り付けます。
- 4mmレンチを使用し、4個のエンドキャップをM4×6プラスチックボルト2本ずつで取り付けます。1Nmのトルクで締め付けてください。



注意

初回取り付けから12時間使用後に、クランプロッドを再度締め直してください。

注意

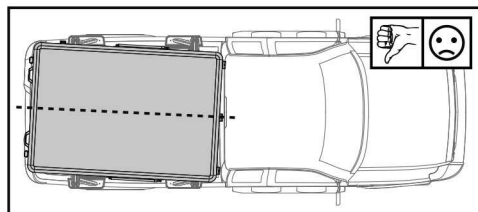
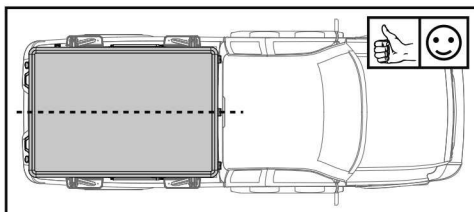
一部の車両では、フロントとリアのクランプの位置を入れ替えることで、クランプボルトへのアクセスが改善される場合があります。

4X

9 まっすぐ取り付けられているかを確認します。

テントがまっすぐに設置されているかを確認するには、レールの端から車両の同側のクランプまでの距離を測定してください。

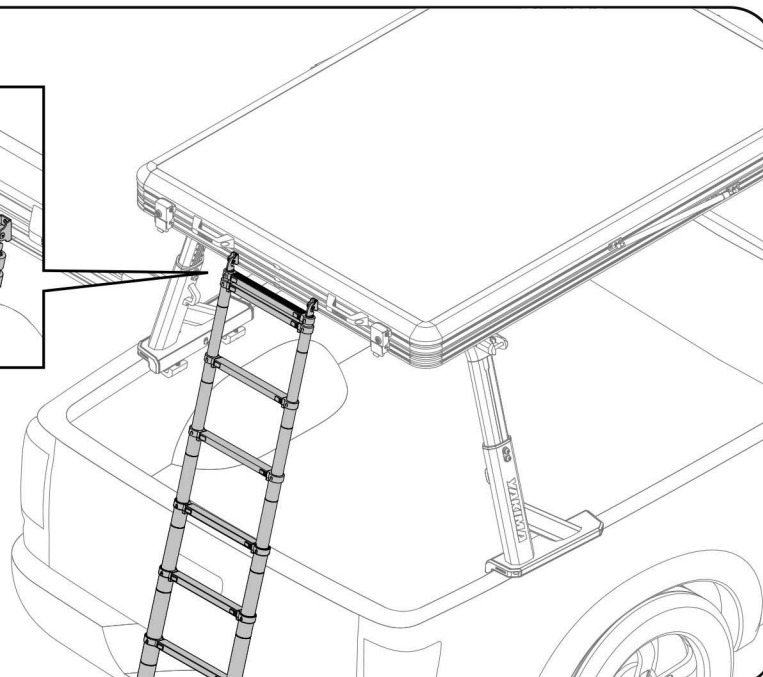
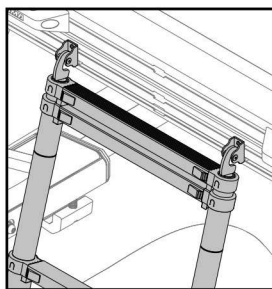
調整が必要な場合は、前の手順を参照してクランプの位置を調整し、完全に締め付けた後、再度確認してください。



10 はしごを取り付けます。

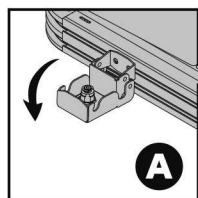
- はしごフックを、2箇所のはしご用ラッチに引っ掛け、地面まで伸ばしてください。全ての段がしっかりと固定され、はしごにぐらつきがないことを確認してください。
- はしごの角度は75度に近い状態にしてください。はしごを短くする必要がある場合は、使用していない段を最上段の下に重ねてください。

注：はしごを正しく使用するために、はしごに記載されているすべての安全上の警告を必ずお読みください。



11 スカイピークHDを展開します。

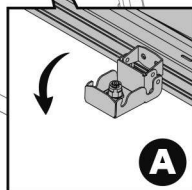
- ラッチを開きます。
注意：指を挟まないようにご注意ください。
- スカイピークHDを開きます。
- バンジーコードを角の周りに巻き付け、Tスロットに差し込んでください。



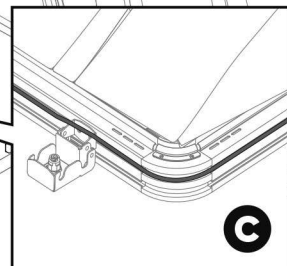
A

B

バンジーコード



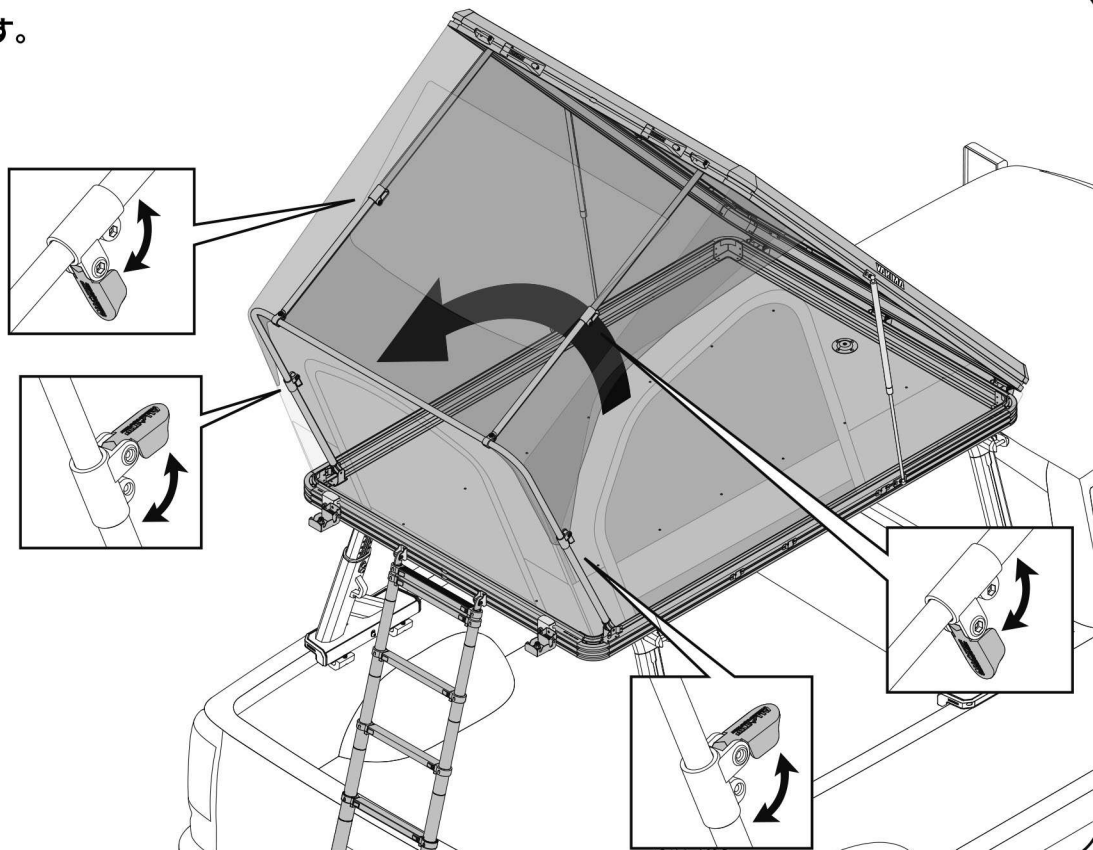
A



C

12 サポートバーを伸ばします。

- ドアファスナーを開けます。
- テント内側のサポートバーを伸ばします。
- 下部のレバーを開き、テント生地たるみがなくなるくらいバーを伸ばしきったあと、レバーを閉じてください。
- 上部のレバーを開き、テント生地たるみがなくなるくらいバーを伸ばしきったあと、レバーを閉じてください。

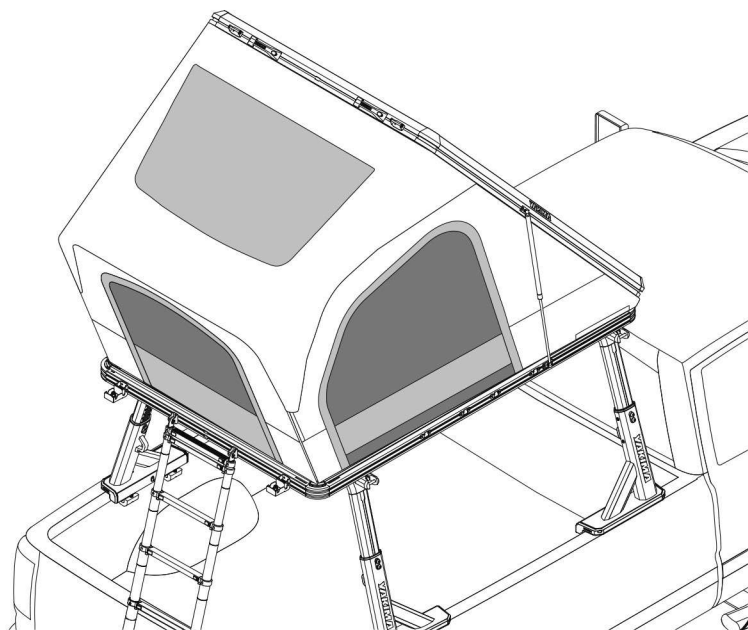


13 窓とドアの操作方法

- 各窓には2枚のシートがあります。
1枚はプライバシー確保用、
もう1枚は換気用です。
- 下部窓の3つの内、いずれもテントへの
入り口として使用できます。

注意

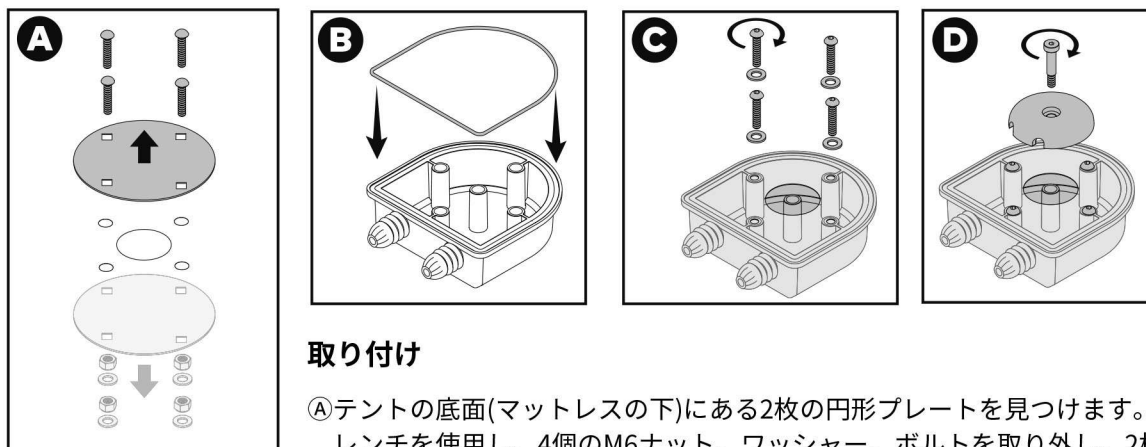
窓やドアを全開にする際、シートをマットレスの下に収納することもできます。これにより、はしごなどがひっかることを防ぎ、破損を防止します。



14 LEDライトの操作方法

テント内をぐるりと囲むLED照明には、3つの色オプションがあり、明るさを調整できます。
ご使用前に、LED電源コードが接続されていることをご確認ください。

15 ソーラーポートを取り付けます。(任意)

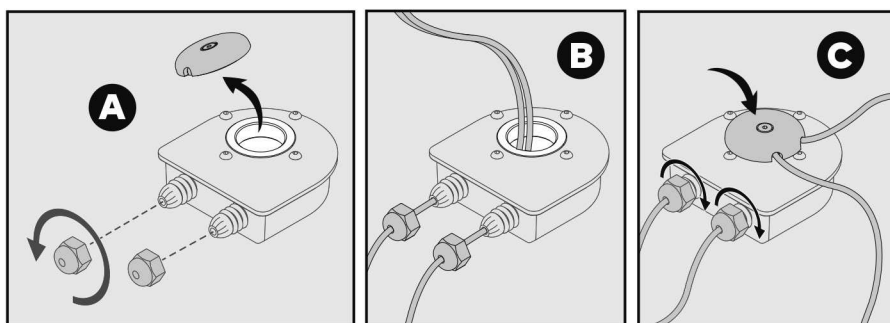


取り付け

- ① テントの底面(マットレスの下)にある2枚の円形プレートを見つけます。
レンチを使用し、4個のM6ナット、ワッシャー、ボルトを取り外し、2枚のプレートを取り外します。
- ② 図のように、Oリングをソーラーポート本体のくぼんだ溝に押し込んで取り付けます。
- ③ 3mmレンチを使用し、テントの穴の上にポートを配置し、図のようにM5×25ボルト4本とM5ワッシャー4個で固定します。
- ④ テント内(マットレスの下)に、M5ショルダーボルトを使用してキャップを取り付けます。

操作方法

- ① テントの下にあるポートホルのキャップを取り外してください
- ② テントの下で、ポートグランドキャップを緩めて取り外してください。
- ③ ワイヤーをグランドに通し、図のようにキャップを元に戻してください。

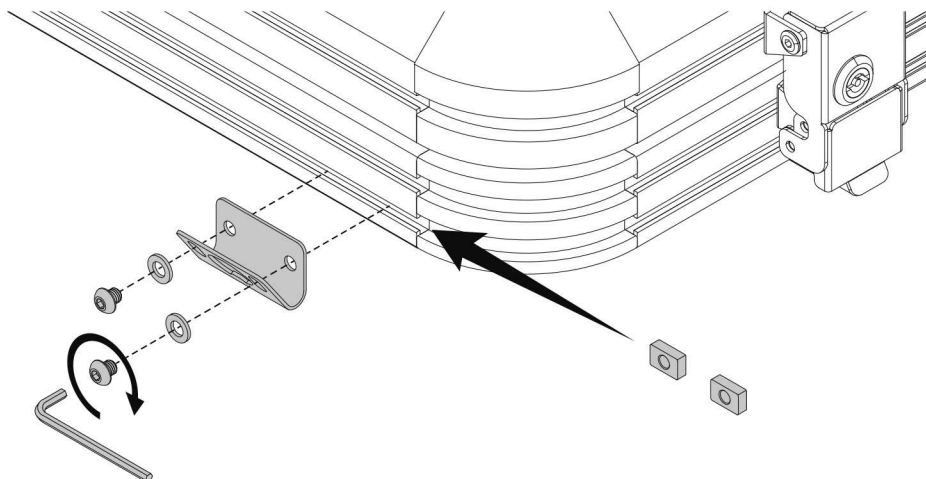


注意

本システムは、5～10mmケーブルに対応しています。

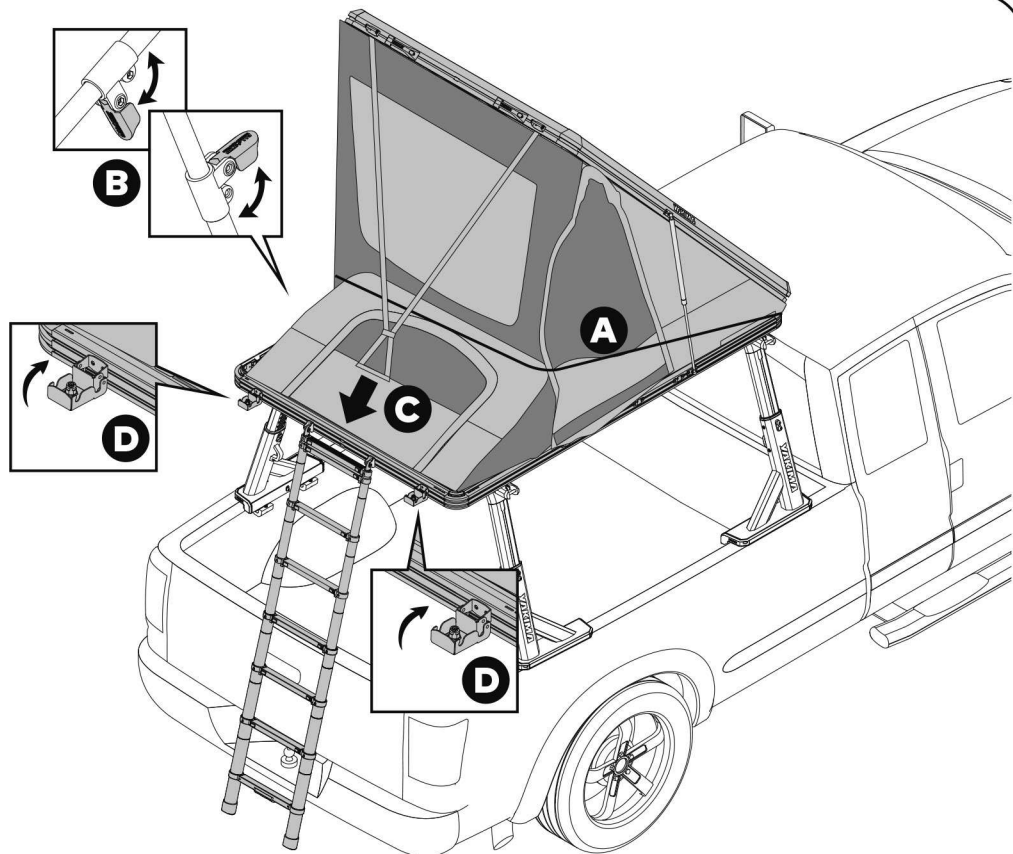
16 ボトルオープナーを取り付けます。

取り付けたい位置に、M8ナットプレート2個を差し込みます。
図のようにM8ワッシャー2個とM8×8ボルト2本を使用し、スカイピークHDに固定します。



17 スカイピークHDを閉じます。

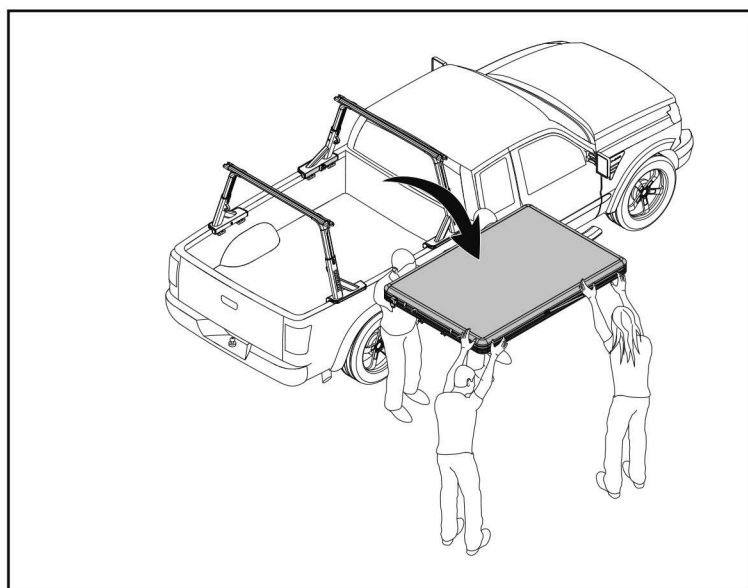
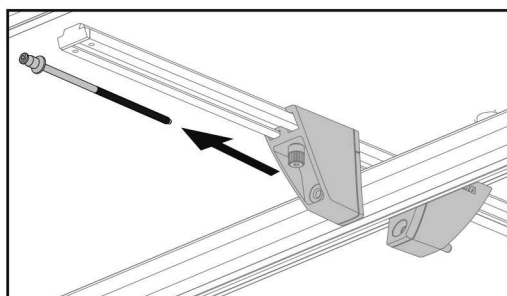
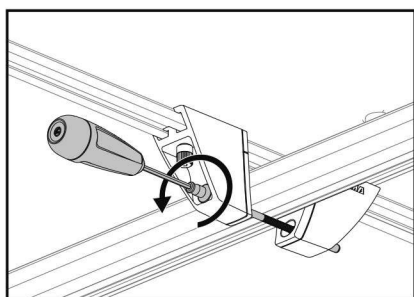
- ① バンジーコードをスカイピークHDの中央に移動させ、生地をまとめやすくします。
- ② スカイピークHD内側のサポートバーのレバーを開きます。
- ③ ウェビングストラップを引っ張りスカイピークHDを閉じ、必要に応じて生地やウェビングストラップを内側に押し込みます。
- ④ ラッチを閉め、蓋がしっかりと固定されていることを確認してください。



取り外し

1 車両からスカイピークHDを取り外します。

- ・スカイピークHDを閉じて、しっかりとロックした状態で行います。トルクレンチを使用し、キャップ付きクランプロッドを緩めて取り外し、クランプを開いてください。
- ・4人以上で、車両からスカイピークHDを取り外します。スカイピークHDとキャップ付きクランプロッドは、安全な場所に保管してください。



注意

車両のルーフにあるアンテナや、そのほか接触の恐れがある箇所には十分ご注意ください。

重要な警告

- ・自動洗濯機を使用する際は、キャリアは取り外してください。
- ・テント内では、ろうそく、ガスランタン、灯油ランプ、ストーブ、調理器具、暖房器具などの、燃料を燃焼させる機器や酸素を消費する機器を使用しないでください。
- ・キャンプファイヤーやその他の火源の近くでテントを張らないでください。
- ・出発する前に、テントの取り付け金具を点検してください。
- ・はしごは、あらかじめ開けられている穴や工場出荷時のロック位置を超えて伸ばさないでください。
- ・はしごに追加の穴を開けないでください。
- ・はしごの角度は75度、またはそれに極めて近い角度にしてください。

ルーフラックの取り付け

ルーフラックやテントの取り付けが不適切な場合、走行中に緩んで重大な事故を引き起こす恐れがあります。取り付け、取り扱い、および使用は、製品およびキャリアの取扱説明書に従って行ってください。

取り付け金具と積載物を定期的に確認し、すべてがしっかりと固定されていることを確認してください。

- ・テントの設置後、少し走行してから
- ・長距離の旅行中は定期的に
- ・悪路では2時間ごとに

車両の運転および規制

- ・走行速度は、積載物および公式の速度制限に適合したものでなければなりません。
 - ・積載物を運搬する際は、道路の状態、路面状況、交通状況、風など、あらゆる条件を考慮して速度を調整してください。
- ルーフトップに荷物を載せると、車両の操縦性、コーナリング、制動性能、横風に対する反応などが変化します。

ルーフトップテントのお手入れとメンテナンス

- ・ご使用のたびに、ルーフトップテントの取り付け金具を点検してください。必要に応じて、中性洗剤と水を混ぜた溶液で洗浄してください。性能を維持するために、定期的に、軽めの合成自転車用潤滑油で金具のねじ山に注油してください。
- ・ルーフトップテントを閉じる前に、十分に乾かしてください。閉じる前に十分に乾かすことができない場合は、完全に閉じずに保管し、次の機会に風通しの良い場所で自然乾燥させてください。
- ・テントを十分に乾燥させないと、カビが発生する原因となり、テントの素材を劣化させ、変色や悪臭を引き起こす可能性があります。カビの発生は、ルーフトップテントの保証対象外となります。
- ・使用しない際のルーフトップテントの適切な保管は、その寿命を延ばします。保管前にテントが完全に乾いていることを確認し、直射日光の当たらない涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ・ファスナーは、均一な力で優しく引き上げてください。ファスナーを無理に開けたり閉じたりしないでください。破損する恐れがあります。ファスナーにほこりや汚れが付着しないようにし、定期的に無香料の蜜蝋をファスナーの歯に塗布して潤滑してください。これにより、ファスナーの寿命を延ばすことができます。
- ・テントを折りたたむ前に、はしごの汚れやほこりを拭き取ってください。
- ・はしごのアルミ製伸縮式サイドレールは、定期的にシリコンスプレーと布を使って拭き取ってください。はしごの踏み板の表面に直接シリコンスプレーを吹き付けしないでください。
- ・マットレスは乾いた状態を保ち、汚れが付かないようにしてください。ルーフトップテントを閉じる前に、マットレスを持ち上げて、裏側が乾いていることを確認してください。必要に応じてマットレスを取り外し、風通しの良い場所で自然乾燥させてください。マットレスカバーを洗浄する際は、カバーを取り外し、デリケート衣類用洗剤を使用して洗濯機の「デリケートコース」で洗ってください。その後、干して乾かしてください。タンブル乾燥は絶対にしないでください。
- ・ルーフトップテントを洗浄する際は、中性洗剤とぬるま湯に浸したスポンジで優しく塗布してください。きれいな濡れたスポンジですすぎ、十分に乾燥させてください。
- ・テントにカビが生えた場合は、Lysol™とレモンジュースを使用したお手入れ方法をお勧めします。まず、1ガロンの熱湯に1カップのLysol™を混ぜた溶液をスポンジで塗布し、乾燥させます。次に、熱湯1ガロンにレモンジュース濃縮液1カップと塩1カップを混ぜた溶液をこの溶液をスポンジで直接患部に塗り込み、Lysol™溶液を洗い流してください。その後、完全に自然乾燥させてください。これらの手順を行うことで、カビの繁殖を防ぎ、臭いを除去するのに役立ちますが、汚れが完全に落ちない場合もあります。
- ・テント生地は寿命を延ばすため、過度な日光への曝露は避けてください。長期間にわたり紫外線にさらされると、テント生地や防水コーティングが劣化してしまう可能性があります。レインフライの素材が日光や使用によって劣化し始めた場合は、中性洗剤と水で生地を洗浄した後、撥水剤を塗布することをお勧めします。その他のテント生地用ケア製品については、お近くのアウトドア専門店にご相談の上説明に従ってご使用ください。

YAKIMA 日本正規代理店

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト: <https://yakima.com/>

日本語サイト: <https://yakima.auto-proz.com/>

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL: 0779-89-2171

Mail: info@auto-proz.com

HP: <https://www.auto-proz.com/>